

# 地方創生インターンシップ推進会議



平成28年（2016年）10月11日

長野県知事 阿部 守一



## 長野県出身学生の県外進学・Uターン就職状況

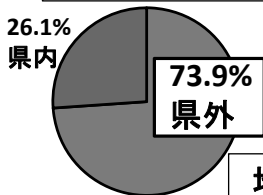


### ポイント

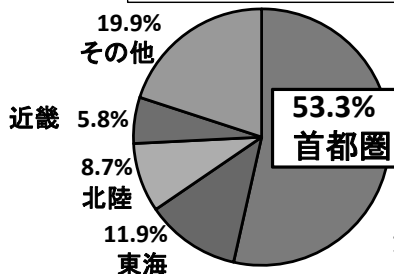
- 県出身の大学進学者等（10,977人：H28.3卒）  
⇒73.9%(8,113人)が県外へ ⇒うち53.3%(4,531人)が首都圏に進学
- リーマンショック後の景気回復により雇用情勢が改善  
⇒進学先の都会で就職する学生増加 ⇒Uターン就職減少 (H28.3卒) 37.8%

### 実績

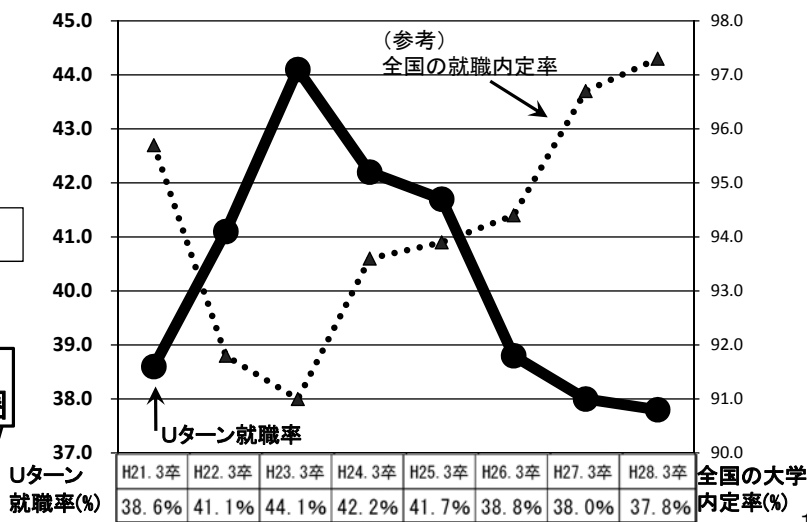
#### 高校生の大学等進学先



#### 地域別の進学先



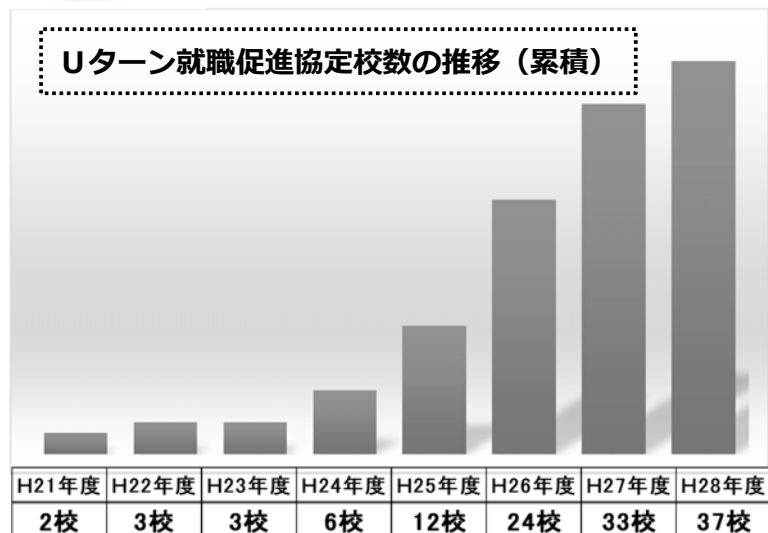
#### 県内出身学生のUターン就職率



## ポイント

- メルマガ、facebook等 ⇒ 合同説明会、自治体採用情報等の提供
- 学内セミナーへの参加 ⇒ 県内産業や信州で働く魅力の理解促進
- 保護者会イベントへの参加 ⇒ 学生の就活等へのアドバイス材料の提供

## 実績



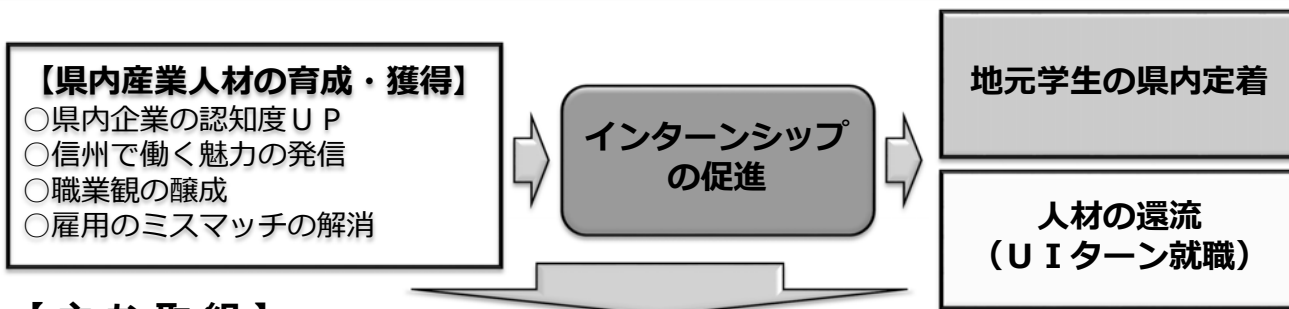
※H28年度：9.30現在

県出身学生が多数在籍する大学等に対して、さらに重点的に働きかけ実施中

協定校のUターン就職状況（H28.3卒）

	Uターン就職率
全体	37.8%
協定校	40.8%
その他校	36.7%

# 長野県におけるインターンシップの取組



## 【主な取組】

### 県内大学等

#### ◆信州産学官協働インターンシップ・マッチング事業

インターンシップの参加者を増やすため、産学官協働によるマッチングの仕組みを構築(H28)  
H28実績：49社・95人のマッチング成立

#### ◆大学生海外インターンシップ支援事業

グローバル人材育成のため、県内大学生を対象に県内企業の海外事業所におけるインターンシップ経費を支援（1人20万円以内）  
H28実績：8名が海外事業所でのインターンシップに参加（ベトナム・タイ・中国・台湾）

### 県外大学等

#### ◆信州エクスターンシップ（H28.8.28～9.3実施：7日間）

就業体験と地域交流を組み合わせた早期キャリア教育プログラム。参加学生6校37名。

#### ◆信州でインターンシップ応援補助金（H28.5月創設）

県外学生の県内企業への交通費・宿泊費を助成。上限4万円/人。208名申請済(9月末現在)

#### ◆ジョブカフェ信州銀座サテライト（H28.10.23開設予定）

首都圏学生への情報提供や就活支援の拠点。銀座NAGANO移住・交流センター内に設置。

平成25年9月に「長野県産学官協働人材育成円卓会議」を設置。  
 産学官協働による人材育成のあり方をテーマに検討を重ねている。(計4回)  
 また、議論の成果を実行するプラットフォームとして、平成27年7月に「信州産学官ひとづくりコンソーシアム」設置した。

### [円卓会議の構成]

- ▼県内主要企業代表者（銀行会長等）
- ▼大学・短大学長
- ▼知事・県教育長・市長会・町村会



第4回産学官協働人材育成円卓会議(28.2.15)

### [議論された課題と解決のための方策]

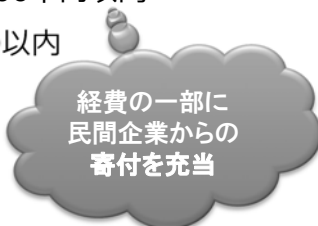
産業界からの期待	解決のための方策	概要
人材の県内定着	インターンシップのマッチング	産学官連携による仕組みを構築(H28～)
グローバル化の推進	海外インターンシップ	平成28年度から派遣開始(8名)
企業の後継者の育成	人材育成プログラムの構築	産学官連携により構築作業(H27・28)

# 大学生海外インターンシップ支援事業

県内の大学・短期大学におけるグローバル人材の育成を促進するため、産業界と連携し、意欲ある学生の県内企業海外事業所でのインターンシップを支援する。  
 (H28年度事業開始)

県内大学の学生が海外インターンシップに参加する場合の経費を補助する。

- ▼対象者 県内大学・短期大学の学生
- ▼補助金額 1人200千円以内
- ▼補助率 10/10以内



### [平成28年度実績]

- ▼学生応募人数 11人
- ▼企業受入希望社数 6社
- ▼実施状況(予定含む) 5社・8人
  - 企業からの寄付 6社・55万円  
(所要経費の約64.0%(概算))

学部	研修先	期間
経済学部	ベトナム	8日間
工学部	ベトナム	8日間
工学部	ベトナム	5日間
工学部	中国	8日間
工学部	タイ	7日間
理学部	タイ	15日間
環境ツーリズム学部	台湾	7日間
環境ツーリズム学部	中国	8日間

地方への若年層人材還流を研究する明治大学 社会イノベーション・デザイン研究所からアプローチがあり、首都圏の6大学と連携して実施

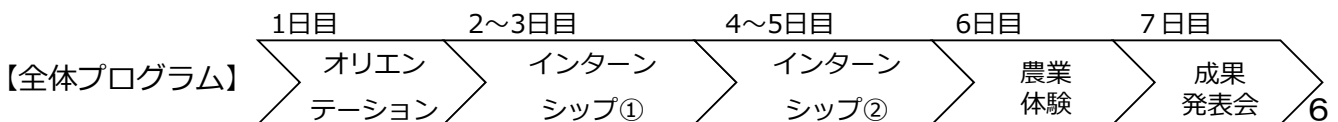
【実施内容】平成28年8月28日～9月3日 参加者：37人（うち県内出身4人）主に2年生  
実施先：地元企業（7社）、JAグループ、県・長野市

## 信州エクスターンシップ

- ・就業体験に加え、地域社会を学ぶ機会を提供する**地域滞在型インターンシップ**
- ・大学の**早期キャリア教育**において、地域で働くこと・生きることの価値を醸成し、**経験学習により、コミュニケーション能力を高める**ことが目的

### 信州エクスターンシップで提供

- |    |                      |    |                        |
|----|----------------------|----|------------------------|
| 大学 | ➢ 職業選択の幅を広げる経験       | 不足 | ■ 2か所の企業へ → 職業選択の幅を広げる |
|    | ➢ 社会人と関わる経験          |    | ■ グループワーク → 他大学生との交流   |
| 企業 | ➢ キャリア形成意識の高い学生との接触  |    | ■ 経営者や社員への取材           |
|    | ➢ 有効なインターンシッププログラム開発 |    | → 社会人と本気で向き合う経験        |



# 地方創生インターンシップの更なる拡大に向けて

## 【大学等への要望】

### ◇学生のインターンシップ参加の促進

- ・キャリア教育の一環として、インターンシップ参加の単位認定及び長期インターンシップのカリキュラム化

（参考）「信州エクスターンシップ」では、6大学のうち2大学が単位認定

## 【国への要望】

### ◇中小企業のインターンシップ取組みの拡大支援

- ・中小企業が行う長期・有給インターンシップに対する財政支援

### ◇日本学生支援機構無利子奨学金（地方創生枠）の活用促進に向けた制度改正

- ・民間企業等からの出捐割合に関わらず、地方公共団体の出捐額の全額を特別交付税の算定対象とする

（現行：地方公共団体の出捐額が基金総額の50%を超えた場合、超えた部分については措置の対象外）

- ・特別交付税の措置率を引き上げる（現行：措置率50%）